

## 千葉市ふれあい自然観察会

### 秋の谷津田を楽しもう

武田 宏子（千葉市）

日 時：2025 年 9 月 27 日（土）10:00～12:00

天気：晴れ

コース：千葉市水辺の郷公園→小山町の谷津田周辺→YPP 田んぼ→千葉市水辺の郷公園

参加者：11 名（大人 6 名・子ども 5 名）

担当指導員：川北・平田稚・山下美・武田、YPP 稲富さん夫妻

彼岸も過ぎて、気持ちの良い秋風を感じながらの観察会になりました。集まってきた子ども達は目をキラキラさせ、生き物を見つけると網ですぐゲットにかかります。そこで、観察会の諸注意・約束（危険な生き物・捕まえた生き物は最後には自由にしてあげることなど）をして、スタートしました。

YPP 田んぼまでの道のり、子ども達はトンボやチョウやバッタなど虫取りに夢中でした。蛇の抜け殻も見つけました。20 分ほどで YPP(谷津田プレーランドプロジェクト)田んぼに到着。すでに、田んぼは赤米や緑米を残し稲刈りが終わっていました。ミズオオバコの花が見られました。以前より放棄田が少なくなっていました。そこで、YPP の稲富さん夫妻に田んぼでの注意事項や米作りの話、谷津田の重要性などを話していただきました。その後、参加者は稲富さんの用意してくれたザルやトレイなどをもって土水路や田んぼで生き物探しに熱中。大人も子どもも。実際に泥の中を掬って生き物を捕らえ、観察するという作業はとても貴重な体験になったようです。稲富さんには、図鑑や実体顕微鏡も用意していただき、谷津田には、コオイムシやたくさんの種類のヤゴ、メダカやニホンアカガエルなどの生き物が暮らしていることをじっくり観察することができました。参加した子ども達は 5～8 才と低学年ではありましたが、一様に「楽しかった」と。谷津田の楽しさ、すばらしさを満喫することができました。貴重な体験をさせてくださった稲富さんご夫妻に感謝です。

・ツバメシジミの幼虫発見  
動いている。アリもいるね。  
・蛇の抜け殻を見つけたよ。  
アオダイショウかな。



実体顕微鏡で、トンボの羽や目を見ました。トンボの目、すごい。目がたくさん。じっくり観察。

